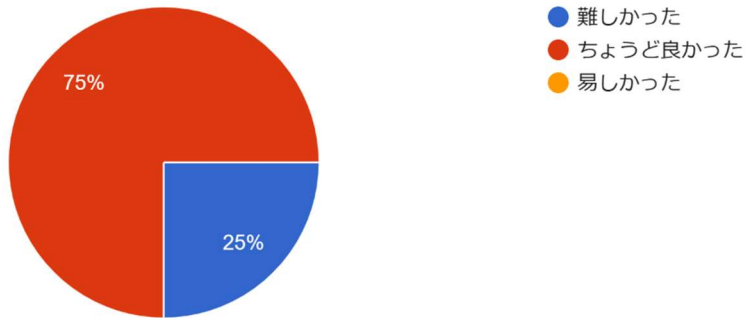


## 2023年度 短期集中研修「多変量生存時間解析コース」 (2023年11月27日)アンケート結果 8/11件の回答

1.受講したコースの難易度を下記の3つよりご選択ください。

8件の回答



2.受講したコースは、実際にデータ解析手法の理解や実践スキルの向上に役に立ったでしょうか？ もしそうでしたら、どのようなコース内容が、どのように役に立ったかをなるべく具体的にお書きください。

・仕事で関わるがん領域では、一部の臨床試験において多変量生存時間解析が使われつつあるため、今回のコピュラを用いたモデリング全般は担当する解析業務にも将来的に役に立つと思いました。

・尤度関数の考え方やフレイルティモデルの講義が丁寧で分かりやすかったです。

解析自体は行えたとしても、理論が分かっていないとブラックボックスのままなので、きちんとどんな仮定を置きながら、計算されているか把握出来ました。Rによるプログラムも説明され、手を動かしながらできたので、イメージもしつつ出来たことが良かったです。

・役立つもの、役立ってみたいものばかりで、全般的に充実していました。特に共有フレイルティモデルは、私が特に興味のあるクラスターRCTの解析にも大いに役立ちますし、そのためにはCox回帰の基本的かつ正確な理解が必須なので、1クール目での基礎固めが大変助かりました。

・Cox回帰での尤度関数からパラメータを求める部分など、丁寧に解説していただけて普段の解析の理解が深まりました。また、OSの代替エンドポイントとして提案される複数のエンドポイントの特徴や、代替エンドポイントの評価方法について学べたことが、今後研究でのエンドポイント選択の際に役立つと考えております。

・生存時間解析のエンドポイントの選び方とフレイルティコピュラの基本的な部分があった。また、Rのコードの書きかたもあり自分で研究やデータ解析をする際にも役に立つと感じた。

・多変量生存時間解析について、具体的に数式の導出からRを使った実践的な内容まで講義していただき、特に2段階法の解析手法について理解が深まりました。

・フレイルティモデルは、観測されないがグループごとに共有されている要素を考慮し、従来の解析では不足していた部分を補え、より実地的な解析が行えると思われました。

・基礎的な概念の解説から、論文を使ってデータ解析の解釈まで解説して下さったのがありがたかったです。

### 3.直接的には役に立ってなくても、今後役に立ちそうな内容がありましたらお書きください。

- ・代替エンドポイントの妥当性の議論は、現状の仕事で直接使用することはあまり考えられないのですが、とはいえ代替エンドポイントの妥当性自体は正しく評価されるべきであると思うので、その方法論に触れることができたことは間接的に今後業務の役に立つと思われます。
- ・フレイルティモデルは理論が整理できて良かったです。フレイルティモデルを扱うべき解析は数は多くないかもしれませんが、そのようなフレームワークは私の研究で使える可能性があり、検討できればと思いました。コピュラについても同様で、耳にしたことは合っても、どういったものであるか、どのような局面で使うかなど、分からなかった中、コピュラの知見も深めることができ、良かったです。
- ・代替エンドポイントの検証やメタアナリシスは、自分が関わるイメージがまだありませんが、いつか関わるのであれば本コースの資料を見返したいと思います。
- ・メタアナリシスアプローチの方法についてある位程度わかった。
- ・事前課題から最終課題まで数学を扱う場面が多く、その経験は今後の研究で役立つと思います。
- ・相関構造のモデリングとしてコピュラを用いることを他の場合でも役に立つかもしれないと思いました。
- ・コピュラ関数を使ったモデルは、今後挑戦してみたいと思います。

### 4.論文執筆や研究推進に役立つという観点から、今後あると助かるといった内容はありますでしょうか。

- ・因果推論の統計手法に関するテーマで研究しています。因果推論の文脈で複数の生存時間変数を組み込んだモデルをあまり見たことがないので、そのあたりの議論を整理するためにも多変量生存時間解析の現在の研究がどの程度議論が進んでいるのか知りたいです。
- ・数式等だけでなく、Rのコードについても板書するスタイル自体は問題無いのですが、念のためコース終了後にコードの模範例を共有いただけると嬉しかったかもしれません。
- ・代替性評価について、メタアナリシスアプローチ以外も含めた概説
- ・コピュラを扱う際に、どのような仮定が必要でどのような点に注意して研究を行えばよいかという事。
- ・私が論文を執筆したことないので、本コースの内容の手法を拡張したりする場合どのようにして研究を進めていくのか、また、この分野の展望について知れたらうれしいです。
- ・解析の長所と短所をより理解できると論文執筆に役立つかと思えます。

5.今後さらに勉強したい、あるいは、今後受講してみたい内容(特定の分野や具体的な統計手法など)がありましたらお書きください。

#### 7 件の回答

- ・4 で回答した、多変量生存時間解析の現在の研究がどの程度議論が進んでいるのか知りたいです。具体的には、今回の内容をベースにした続編版を受講してみたいです。
- ・今回の短期集中研修を機に、生存時間解析をもっと勉強せねばと感じました。私の理解度のものさしで恐縮ですが、経時解析あたりの内容があると嬉しいです。
- ・今回のコースにおいて、募集時に構成に含めていただいたもののコース内で取り扱われなかった内容である競合リスク関係は是非学んでみたいです。
- ・メタアナリシス、経時データ解析
- ・joint-frailty copula について知りたいと思った。
- ・ベイズ流臨床試験に関する講座や、ベイズ流の生存時間解析について勉強したいです。
- ・経時データ解析など

6.その他、何かご質問などございましたらご自由にご記載ください。

#### 3 件の回答

- ・今回の研修は大変勉強になりました。今回の研修内容は、幅広い層をターゲットにできるものではないと思いますが、短期集中研修の一部の研修ではこのような特定の層に刺さるニッチな内容があっても良いと参加者として思いました。情報処理の重要性がさらに高まりつつある現代社会において数理統計の知識と実践力を持つ人材の教育のためには、広く浅いアプローチで数理統計に興味を持ちそう・持っているが初学者への教育が重要ですが、ある程度の理解と実践力がある中級者を増やすという観点でのアプローチも全体的な人材教育をさらに進めるためには必要であると思います。そういった観点で今回のような研修は大変意義のあるものであると感じました。
- ・大変お世話になりました！！
- ・この度はこのような非常に充実した講座を受講させていただきありがとうございました。